

2023 統一地方選挙 アピール

戦争か平和か——岐路に立ついま
いのちと暮らしを護るケアの担い手として、私たちは訴えます！

投票へ行きましょう

いま、2023年春の統一地方選挙がおこなわれています。
いのちと暮らしを最も破壊する大軍拡をやめさせる大切な機会です。
その意思を示すために、必ず投票に行きましょう。
あなたの一票を生かして、平和、憲法を守り、医療・介護、社会保障を拡充させましょう。

コロナ禍は、「格差と貧困の広がり」「医療体制・公衆衛生体制のぜい弱さ」をあぶりだし、政治の無策によって医療崩壊や介護崩壊を招きました。

「いのちの選別」まで迫られる事態のなか、わたしたちは「いのちの尊さと個人の尊厳」を護る専門職として、必死に頑張ってきました。

多くの苦しみや悲しみがあふれているにもかかわらず、政府はいのちを平気でふみにじる政治へと突き進んでいます。

『いのちに勝る価値はありません』

『いのちを奪う武器はいらない』

『戦争より、いのちとケアが大切にされる社会を』

いまこそ、この声をあげる時です。

平和は人間が生きることへの保障です。

よりよい看護・介護の実践は、平和であってこそ達成可能です。

そして民医連の看護は、「日本国憲法」「民医連綱領」を実践の根幹に、すべての人が人間らしく、その人らしく生きていくことをあらゆる場面で援助する「無差別・平等」の看護です。

その豊かなケアの実現のために、ミサイルより看護師を増やしてほしい。

看護師として働く喜びを実感でき、誇りを持ち続けられる社会をつくりたい。

軍事費の倍増によって「戦争できる国」にしてはならない。

いまこそ、看護の現場から声をあげていきましょう。

戦争より、いのちとケアが大切にされる社会へ あなたの一票から

2023年4月7日 第45期全日本民医連看護理事一同

須田倫子（北海道）	寺島由美（青森）
見川葉子（埼玉）	村松裕子（山梨）
井澤有里美（東京）	藤牧和恵（石川）
坂田薫（京都）	植本みゆき（岡山）
河本真理（福岡・佐賀）	川上和美（副会長・熊本）
小牟田佐知子（宮崎）	宮川喜与美（全日本）

